



ライオンズクラブ国際協会 335-A地区

第64回地区年次大会

第2分科会 委員会現況報告

地区LCIFコーディネーター

地区LCIF委員会

地区YCE・レオ委員会

地区社会福祉委員会

地区ライオンズクエスト委員会

地区青少年健全育成委員会

地区環境保全委員会

地区アラート委員会

地区間交流特別委員会

地区LCIFコーディネーター 現況報告

地区LCIFコーディネーター 堀本 雅也

今期は、LCIF理事財団設立50周年の年を迎えました。

地区ガバナーL藤田文基は準備委員会において、献金目標達成のため、一にクラブ参加率100パーセントを目標とされました。昨年度にLCIFクラブコーディネーターを推奨したことと、各ゾーン・チェアパーソン・各クラブ会長・藤田地区ガバナーの力強いご協力、地区LCIF委員会・335複合地区LCIFコーディネーターL北畑のご指導・地区LCIF委員長L藤井一弘各位のご協力のもと、目標を達成することが出来ました。

目標献金額の達成、クラブ参加率100パーセントが手の届くところまでになりました。

地区ライオンズクエスト委員会からも、LCIF交付金助成申請額（LCIF四大交付金）1,650,000円が提案されています。世のめぐまれない子供達のためにもLCIF献金の発展がかかせないものと思われる。

LCIF標語として、「どんどん献金・どんどん交付金をもらおう」「マイ・バースディMJF」今後も継承下さい。

私も、地区LCIFコーディネーターを拝命して4年間で目標が達成出来たことで安堵しています。これもひとえに335-A地区各位のご協力と地区LCIF委員長L藤井一弘のご努力の賜ものと感謝と御礼を申し上げます。

地区LCIF委員会 現況報告

地区LCIF委員長 藤井 一弘

今期LCIF（ライオンズクラブ国際財団）は、50周年を迎えます。この輝かしい記念すべき年にあたり335-A地区では世界中の多くの困難な状況におかれている人達、恵まれない子ども達へ50年間奉仕活動をしてまいりました。

これからはまた更なるステージを目指したいと思います。

昨年9月より全クラブのガバナー公式訪問に随行させて頂き、懇親会と例会で献金の大切さを訴えて参りました。また、10月30日に100周年記念委員会と合同でセミナーを開催し、335複合地区LCIFコーディネーターL北畑英樹とL夏有民335-B地区LCIFコーディネーターをお招きして皆

様にLCIFに対するご理解を深めて頂きました。そして11月よりLCIF委員会のメンバー全員で335-A地区77クラブへ個別で献金のご協力をお願いに参りました。その結果1月末の実績としまして、MJFはすでに昨年度を上回る127口。献金総額も1,910万円とこの10年間で最高額となっており、献金にご協力頂いたクラブも100%まであと少しと迫って参りました。

1月末現在全国35地区で第16位。一人当たりの献金額で何と7位という335-A地区では過去にない素晴らしい成果を挙げました。

この結果は、各クラブ会長、幹事、メンバーの皆様のご協力の賜物と感謝致します。

また、ご指導頂きました、藤田ガバナー、堀本LCIFコーディネーター、地区役員の皆様、そしてLCIF委員会の皆様のお陰と心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

地区YCE・レオ委員会 現況報告

地区YCE・レオ委員長 阪田 勝紀

今期は、YCE生とレオクラブとの交流が活発に行われとてもいい1年間でした。

ライオンズクラブメンバーに「もっと知ってもらおう！YCEとレオクラブ」ということで、11月11日に「YCE・レオクラブ研修会」を開催いたしました。YCE生とレオクラブのメンバーにそれぞれ帰国報告やレオクラブの活動についてプレゼンテーションをしていただきました。

□YCE派遣、受入れについて

2017年度夏期派遣生・・・4名（マレーシア1名、オーストラリア2名、台湾1名）

2017年度夏期受入生・・・3名（イタリア1名、台湾2名）

2017年度冬期派遣生・・・2名（マレーシア2名）

2017年度冬期受入生・・・4名（マレーシア2名、シンガポール1名、ニュージーランド1名）

2018年度夏期派遣予定生・・・2名（フィンランド1名、オーストラリア1名）

派遣生が、2017年度夏期派遣生が4名でしたが、それ以降の2017年

冬期派遣生、2018年度夏期派遣生がともに2名と減少しています。それに対して受入生は4名来日しますので必然とホストクラブ・ホストファミリーを見つけるのに非常に苦勞を致しました。そのため、今期は芦屋国際交流協会と提携し冬期派遣生2名のホストファミリーになっていただきました。今後も芦屋国際交流協会だけでなく三田国際交流協会などライオンズクラブ以外の協会や学校とも連携し新しいYCE事業を展開していく必要があると考えます。

□YCEキャンプについて

〔2017年度夏期受入生〕

台湾からの来日生2名が、335-A地区で初めて335-B地区が主催をする第36回日本国際ユースキャンプに参加をいたしました。2泊3日で広島に訪問いたしました。全世界から集まったYCE生との交流はとても意義深いものでありました。また、A地区の単独の夏期キャンプは、今田ライオンズクラブのご協力のもと陶芸教室を行いました。

〔2017年度冬期受入生〕

335複合地区で冬期YCEスキーキャンプを行いました。

335-D地区村岡ライオンズクラブにご協力をさせていただきました。今年の冬は、寒波の影響もあり多くの雪がつもりました。そのため、はじめて雪を見たYCE生は、大感激をいたしました。

□レオクラブ活動について

〔レオリーダーシップ研修会について〕

8月26日、27日に兵庫県篠山市の里の山ロッジ森の時計で行いました。今期は、新人の役員が多かったため、レオクラブについてベテランレオメンバーが、講習会を行いました。

〔年末チャリティーバザーについて〕

11月25日、26日に三宮センター街野村証券前で恒例の年末チャリティーバザーを開催しました。

ライオンズクラブから拠出品を提供していただき児童育成キャンプ費用、約60万円の資金獲得に成功いたしました。

〔児童育成キャンプ〕

3月17日、18日に兵庫県立南但馬自然学校で児童育成キャンプを行いました。

児童育成キャンプ参加者は、双葉学園、神戸真生塾、愛信学園、善照学園、信愛学園の小3～6年生の生徒さんです。レオクラブのメンバーは、子ども目線になって生徒たちと共に2日間を過ごし貴重な経験を積みました。

*最後に2017年～2018年の1年間、YCEとレオクラブの活動にご協力、ご支援を頂きましてありがとうございます。心から感謝申し上げます。

地区社会福祉委員会 現況報告

地区社会福祉委員長 秋本 久美子

100周年、更に次へと続くライオンズクラブの人道奉仕の原点が社会福祉にあるように思います。福祉と考えますと、いろんな団体との関わりがあり、行政と重なる部分が多いです。行政がカバーできないところに心を寄せ、多くのクラブがライオンズらしい生き生きとした奉仕活動をされていらっしゃる事を学ばせていただきました。

1. 7月26日 「献血・さい帯血推進セミナー」開催
2. 8月31日 「献血功労感謝のつどい」にて4ライオンズクラブが表彰された。
3. 12月13日 SOトーチラン参加
4. 9月22日 さい帯血バンク主催「チャリティーコンサート」支援
5. 2月23日 「アイバンク並びに盲導犬研修会」開催
アイバンク事業の啓発と盲導犬の働きを紹介。

- ・献血推進事業に多くのクラブが主催、共催、協賛など協力をいただきました。
- ・盲導犬育成募金箱を各クラブに配布いたしました。
- ・毎月例報告として盲導犬協会募金の集計、献血会場の一覧表とクラブアクティビティの報告を配信しております。
- ・「国際作文コンテスト・平和の未来」を募集し、対象児童・県立視覚特別支援学校より応募がありました。
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック支援事業の支援策について、すでに第1案として、「東京2020パラリンピック大会出場を目指している次世代選手の支援」が確定し、実施されております。
- ・兵庫さい帯血バンクの移転先が兵庫県赤十字血液センター合同社屋に決定。移設に伴う募金活動にご協力をお願いいたします。

少し不自由を感じていらっしゃる方に寄り添いながらもっと活躍できる場を提供、支援すること等ライオンズとしてできることがたくさんあることを学んだ1年でした。皆様のご協力ご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

地区ライオンズクエスト委員会 現況報告

地区ライオンズクエスト委員長 北川 昌幸

1. 公募型ワークショップの開催

- 8月21日 芦屋市教育委員会 10名修了
 - スポンサークラブ：芦屋ハーモニーライオンズクラブ
- 8月28-29日 西宮市教育委員会 8名修了
 - スポンサークラブ：2R4Z 6クラブ

2. 校内型ワークショップの開催

- 12月26-27日 尼崎 からたち幼稚園 20名修了
 - スポンサークラブ：尼崎南ライオンズクラブ

3. 校内型フォローアップワークショップの開催

- 8月30日 神戸市立和田岬小学校 15名修了
 - スポンサークラブ：神戸須磨ライオンズクラブ

4. 地区研修会の開催

- 10月16日 神戸市 兵庫県中央労働センター 小ホール
 - 委員会の主催で、地区内の研修会を開催 約60名出席

5. 委員会の開催

- 7月7日・10月2日・12月1日・1月12日 3月現在、4回の委員会を開催

6. その他活動

- 神戸市私立幼稚園連盟をはじめ幼・保・小中学校に対しワークショップの開催のお願いを継続

※LCIF 四大交付金プログラムの事業期間は2016年7月～2018年6月

※2018年3月現在の交付金消化率は約95%

項目	前期 まで 実績	今期 2017年7～12月		全期 2016年7月～18年6月	
		計画	実績	計画	累積実績
公募型 WS 開催数 (回)	2	2	2	5	4
公募型 WS 参加者数 (人)	26	50	18	125	44
校内型 WS 開催数 (回)	2	-	1	1	3
校内型 WS 参加者数 (人)	31	-	20	25	51
実践校数 (校)	2	-	-	2	2
公募型 Fup-WS 開催数 (回)	-	-	-	1	-
公募型 Fup-WS 参加者数 (人)	-	-	-	20	-
校内型 Fup-WS 開催数 (回)	-	-	1	-	1
校内型 Fup-WS 参加者数 (人)	-	-	15	-	15
セミナー開催数 (回)	1	-	-	1	2

地区青少年健全育成委員会 現況報告

地区青少年健全育成委員長 天竹 功一

①【薬物乱用防止教育認定講師】 養成認定講座実施

月 日 : 2017年11月10日 (金)

場 所 : 神戸市勤労会館

基礎講座 医学博士L万本 盛三先生

専門講座 兵庫県警察本部刑事部 井上 一馬様

専門講座 兵庫県健康福祉部 健康局 滝本 典彦様

実践講座 L羽賀 直之

ライオンズメンバー47名が受講して頂きました。

②薬物乱用教室の実施

主な実施クラブ

神戸のじぎくライオンズクラブ 洲本おのころライオンズクラブ

柏原ライオンズクラブ 山南ライオンズクラブ 丹南ライオンズクラブ

③神戸まつり薬物乱用防止パレード実施

月 日 : 2018年 5月 20日 (日)

場 所 : 神戸市役所前から神戸大丸 まで約1K パレード

時 間 : 12:30~16:30

内 容 : 本山中学のマーチングバンドを先頭に【薬物乱用はダメ。ゼッタイ】の横断幕をもってライオンズ関係者がパレード

参加者 : ライオンズクラブメンバー・レオメンバー及び関係者

参加費 : パレードに着用する黄色いTシャツ 2,000円

(昨年参加者は同じですので不要)

参加募集 : 2018年4月上旬~4月27日 (金)

参加定員 : 130名 (本山中学マーチングバンド30名 ライオン関係者100名)

協賛金 : 1口 5,000円

本山中学校楽器運搬 交通費 会議費 Tシャツ送料 その他

効果 : ライオンズクラブが青少年育成のため市民に【薬物乱用防止】の意識持ってもらおうPRになる

参考 東京ディズニーリゾート35周年スペシャルパレードで 神戸まつりに参加

12:30頃

地区環境保全委員会 現況報告

地区環境保全委員長 川尾 祐士

2017年はライオンズクラブ誕生100年、この記念大会（シカゴ国際大会
2017年6月30日～7月6日）に出席することができ、喜ばしい限りです。

報告事項（2017～2018）

①7月28日（金）	地区環境保全委員会	キャビネット事務局
②8月24日（木）	複合地区環境保全委員会	ガバナー協議会事務局
③9月11日（月）	交通安全県民大会	兵庫県公館大会議室
④10月11日（水）	第1回アクティビティ・コンペティション会議	キャビネット事務局
⑤11月13日（月）	第2回アクティビティ・コンペティション会議	キャビネット事務局
⑥1月17日（水）	第3回アクティビティ・コンペティション会議	キャビネット事務局
⑦1月22日（月）	野口健講演会「自然環境保全と災害支援」	太閤園
⑧1月26日（金）	複合地区環境保全委員会	ガバナー協議会事務局
⑨2月7日（水）	第4回アクティビティ・コンペティション会議	キャビネット事務局
⑩2月9日（金）	神戸地球環境市民会議	神戸国際会館
⑪3月5日（月）	第5回アクティビティ・コンペティション会議	キャビネット事務局

地区アラート委員会 現況報告

地区アラート委員長 田中 操

2007年7月に施行された「緊急援助資金規定」も今期で17年が経過しており、目的を達成する為に、毎年会員一人当たり1,000円の拠出をして頂いてまいりましたが、目標である5,000万円の積立金が達成されました。

目標額が達成された現在、「緊急援助資金規定」の改定を検討されてまいりました。昨今地球規模での大災害が多発している状況です。災害時には緊急性が求められることより、「災害援助資金規定」が第3回キャビネット会議に提案され、「緊急援助資金規定」の一部改訂を含め、目的を変えて会員に拠出金をお願いすることを採決可決（但し拠出金は、年次大会の決議が必要）されました。これにより「緊急援助資金規定」は、335-A地区内の被災したクラブの維持、再建、「災害援助資金規定」は335-A地区を超えた緊急支援を出来る様になりました。

又、毎年1月17日に「阪神淡路大震災」を忘れない目的で実施されている「ひょうご安全の日のつどい」イベント（メモリアルウオーク）に各クラブ会員の皆様方に参加をお願いし、啓蒙活動を実施致しました。当日はあいにくの雨天で、参加者は少なかったがPRにもなりました。

今後は災害発生時の対応強化に向けて「アラートチーム」の編成を検討することとしています。

会員の皆様方にはご理解と、ご協力にお礼申し上げます。

地区間交流特別委員会 現況報告

地区交流特別委員会委員長 森 平八郎

①10月25日ラヴィーナ姫路に於いて、335-D地区ガバナーL小林 寛(姫路中央ライオンズクラブ所属)公式訪問例会、並びに結成54周年記念例会、新会員入会式例会が開催されました。335-A地区よりキャビネット幹事L山本を初め地区役員8名が参加、地区間交流を深めてきました。特に335-D地区ではLCIFに力を入れておられ会員の皆様に周知徹底されているのが伝わって来ました。

②335-A地区・335-D地区交流会

12月1日(金)16時よりホテル日航姫路に於いて335-D地区GMTコーディネーターL船橋 佳照の開会宣言に始まり335-A地区・335-D地区交流会が開催されました。335-A地区より47名、335-D地区より77名の参加、合計124名でした。

335-D地区ガバナー L小林 寛・335複合地区ガバナー協議会議長L福田恵太の挨拶の後、国際理事L中村 泰久(330-C地区大宮北ライオンズクラブ所属)による「日本のライオンズの今後について」と題して講演をされ、貴重な最新情報を戴きました。

続いて、335-D地区ガバナーL小林 寛による「魅了あるライオンズクラブとは」と題して講演をされ、相互理解でクラブライフを楽しむ事が良きアクティビティが出来るのではとのアドバイスを頂きました。

その後、懇親会に入り有意義な交流会になりました。

③2月3日(土)東天紅において地区指導力委員会主催の「若手交流会」に地区間交流特別委員会より森とL森本2名で参加させていただきました。地区委員会、各クラブ皆様のご理解とご協力を有難うございました。